

地域が主体となったサルの被害防止対策

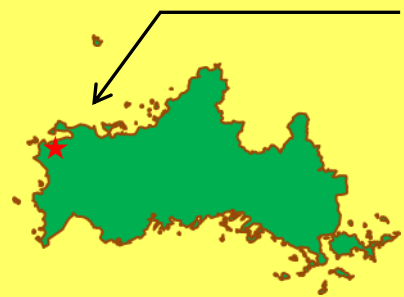
1 要旨

○下関市豊北町大字粟野 安崎地区では、サルによる農作物被害（野菜/果樹）の低減を図るため、地域ぐるみによる大型囲いわなの設置等を実施し、農家の生産意欲の向上を目指す。

2 地区の概要

地区名	下関市豊北町大字粟野 安崎地区
戸数	20戸（うち農家16戸）
耕作面積	水田13.4ha、畑0.6ha
主な作物	水稻、野菜など
加害獣種	サル
対策実施年度	令和元年度

下関市豊北町大字粟野 安崎地区



3 被害の状況と課題

○サルによる農作物被害（野菜、果樹等）が頻発しており、農家の生産意欲が低下している。

○ モンキードックや爆竹等による追い払いを試みているが、間隔を開けて再襲されるなど、十分な効果が得られず抜本的な対策が必要である。

○ 放任果樹が集落内へサルを誘引している実情があり、地域ぐるみの対策が必要である。

4 取組内容

(1) 推進体制の整備

○被害防止活動に取り組むための推進体制の整備と役割の明確化

- ・ 下関市：協議会の運営・地域アドバイザー
- ・ 下関市鳥獣被害防止対策協議会：大型囲いわなの導入設置
- ・ 下関農林事務所：鳥獣被害防止・駆除に関する助言
- ・ 豊北猟友会：捕獲体制支援（銃器・わなによる駆除等）
- ・ 安崎地区自治会：情報提供と被害対策への協力

(2) 活動方針の作成

○ 市当局と地域住民が連携し、「集落環境調査」を基に3か年の活動方針を作成した。

(3) 実践活動

① 生息地管理：遊休農地の保全管理

② 防護：防護柵の点検・補修・管理、放任果樹・農作物残渣の除去、モンキードッグの配置

③ 捕獲：箱わなの設置、銃猟の実施、新たにサル用大型捕獲柵の設置



大型囲いわなの設置



モンキードッグ認定犬による活動

5 取組の成果

○ サル用大型囲いわなの設置（R2年3月）により68頭を捕獲し、被害額が約1割減少した。

【被害額】

（千円）

区分	事業 実施前	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
サル	510	460	▲50	440	▲70	—	—

6 地区代表者のコメント

○ 以前から集落全体で対策に取り組む必要性は感じており、住民の中からモンキードッグ認定犬の飼主になってもらったりと少しずつだが進めていた。事業によってサル用の囲いわなを設置することが出来たので、今後は追い払いと捕獲の両方によって被害を減らしていきたい。

7 今後の取組

○ 依然としてサルの大きな群れの目撃情報が報告されているため、囲いわなの管理や追い払い等、集落住民と協力して進めていきたい。